

< 編集後記 >

昨今のネットワーク技術とそれによって整備されるネットワーク基幹網の進化には目を見張るものがある。今号には国立情報学研究所次世代学術ネットワーク SINET3の紹介が寄稿された。また、名古屋大学の新基幹ネットワーク e-NICEの紹介も掲載されており、その利用価値の大きさは計り知れないものがある。

しかし基盤整備が進む一方でその利用は十分に進むのだろうか。技術に対して利用者のリテラシーは進歩しているのだろうか。折しもネットワーク技術者の間ではIPv4枯渇に対する懸念が語られはじめている。IPv6は徐々に使われだしているが、その完成度とネットワーク利用者における認知度はまだまだであり、IPv4の代替になるかどうかはかなり怪しい状況である。一般のネットワーク利用者たちは相当に保守的な存在であることを直視しなくてはならない。先進技術を楽しんでいる一部の研究者の感覚で社会をみていると道を誤ることになるだろう…

(文責 tss)